

昭和 55 年度以後の研究発表会記録

出版者	長野県ことばの会
引用	ことばの研究 2: 2-6 (1983)
発行年月日	1983-04-17
URL	http://hdl.handle.net/10091/00022359

昭和55年度以後の研究発表会記録

当会も54年8月4日発足以来、4か年にわたる会活動をつづけてまいり、この間に研究発表会は13回を重ねました。ふり返ってみてこの発表会は、学生の皆さん、報道関係にご活躍のかたがた、ことばの教育面において苦勞をつづけられる教育関係の諸氏、また研究者の皆さん、と各方面にわたる実に多彩な、質の高い研究発表が積み重ねられてきました。次に55年度以後の3か年間の研究発表の記録を掲げます。 (54年度の研究発表は) (会誌1号に掲載済)

55年度

6月1日 第5回研究発表会

松本市あがたの森文化会館

1 方言の共通語化

——長野市小田切と桜枝町の場合——

共通語化の実態 信大人文学部学生 小山 洋一

性格とことば 信大人文学部学生 長岡 伸子

母の呼び方 信大教育学部学生 水科真由美

2 敬語の使用に影響を与える場面の研究

都立大学大学院学生 沖 裕子

3 自閉的傾向を持つ子どもにおける言語の問題

松本養護学校教諭 土屋 幸子

4 副詞について

信大教養部講師 石神 照雄

5 方言の表現性と方言意識

飯田女子短大教授 清水 悟郎

8月31日 第6回研究発表会

長野市、県勤労者福祉センター

1 正法眼蔵眼随聞記の禁止表現について

松本市本郷小学校教諭 高井みゆ貴

2 方言教材の指導 伊那市伊那中学校教諭 片桐 睦子

3 長野県における洪水説話について
県史刊行会 倉石 忠彦

4 平安時代の歌語について
信大教育学部教授 滝沢 貞夫

12月7日 第7回研究発表会

長野市、信大教育学部M棟311番教室

1 現代の国語表記について
——ふりがな表記を中心に——
信大教育学部教授 京極 興一

2 古典文学作品に表れた
いわゆる複数を表す接尾語について
——主としてドモ——
中野市平野小学校教諭 轟 美津子

3 諏訪方言の調査から
——ナナシト、文末助詞ネヤなどを中心に——
諏訪 牛山 初男

4 座談会
敬語の問題を中心に
提案——信大教育学部講師 細川 英雄

56年度

6月14日 第8回研究発表会

松本市あがたの森文化会館

1 無アクセントから有アクセントへ
——静岡市井川方言の場合——
信大文学部卒業生 上島 洋子

2 自閉症児への言語指導の試み
松本市源池小学校教諭 望月 弘

3 職業とことば

信越放送報道制作局企画委員 金井 秀一

講演 国語史研究と訓点資料

信大人文学部助教授 沼本 克明

12月6日 第9回研究発表会

長野市、信大教育学部音声言語実習室

1 現代論説文における外来語について

信大教育学部学生 野池 義喜

2 主格表示の変化について

——「の」・「が」を中心に——

信大教育学部学生 溝口 尚美

3 中世国語資料キリシタン版について

長野県短大講師 清水 登

4 ことばのはたらきに気づかせる一つの試み

——カルタ作りを通して——

信大付属長野中学校教諭 中原 稲雄

2月21日 第10回研究発表会

長野市、信大教育学部音声言語実習室

1 信越国境地帯の方言分布

——千曲川下流～信濃川上流地域における——

駒ヶ根市赤穂小学校教諭 柴草 敬子

2 中学生における語の指導

——読むことの注解の扱い、中学1年の場合——

須坂市相森中学校教諭 和田 邑吉

3 中学生のことばづかいについて

——上水内郡飯綱中学における——

上水内郡飯綱中学校教諭 田島 守

4 中学校における方言の教育

——「片足跳び」の方言の学習評価

須坂市立常盤中学校教諭 宮本 経祥
長野市稲里町 青木千代吉

57年度

6月13日 第11回研究発表会

松本市あがたの森文化会館

1 場面と敬語使用

飯田女子高校教諭 岡田 一美

2 ことばを大切に作る国語教室をめざして

松本市鎌田中学校教諭 西 正夫

3 方言の古さと新しさ

——秋山郷方言の場合——

信大人文学部教授 馬瀬 良雄

4 ことばの表情

信越放送松本放送局次長 木村 雅英

9月5日 第12回研究発表会

長野市、信大教育学部音声言語実習室

1 源氏物語の敬語について

信大教育学部学生 佐々木由利

2 小学生の文章表現におけるつなぎことば

長野市西条小学校教諭 本山 育人

3 句読と句読意識

——中学生を対象とした調査から——

長野市東部中学校教諭 栗林 正幸

4 国語力・構文力・論理力

信大教育学部講師 細川 英雄

12月19日 第13回研究発表会

長野市、信大教育学部M館会議室

- 1 木曾郡開田村の方言について
——おる・いる・ある を中心に——
長野市稲里町 青木千代吉
- 2 豊かな言語感覚を生かした国語教育の創造
長野市古牧小学校教諭 伊東 道雄
- 3 日本語と中国語
——訓読を中心に——
信大人文学部教授 西岡 晴彦
- 4 意味を考へていく上での諸面
福井大学名誉教授 佐藤 茂